

桜並木を育てて10年

オレンジ・ウェイと熊野古道で下草刈

——地域の方々のご賛同と支援を得て——

有田R.C 社会奉仕委員長 岩橋 行伸

わがクラブでは、下半期半ば・終わりも近いとほっとした頃、かなりハードな奉仕活動に挑戦します。山上に連なる「オレンジ・ウェイ」に10年前植えた桜並木の下草や蔦の伐採がそのひとつです。

3月30日（日）小雨のふる中20余名、ローターアクトも加わり草刈機・枝鋏・鎌など使い慣れない？道具で一生懸命作業をこなしました。海岸のパノラマの様な眺望と三分咲の桜は、素晴らしい景観で指折りの展望地なのですが、作業に熱中し景色を味わう余裕はありませんでした。



だがこれで終わりではありません。折角忙しい会員が集結したのだからと、山上から下ると、有田川を渡り、今ひとつ熊野古道に設けられた「山口王子」に4年前植樹した桜の下草も、一気にきれいに除草いたしました。

もはやへとへと、近くの会員のお店・橘家で頂くお昼ごはんは、まさに世界の珍味でした。

だが正直言って、私たちの奉仕活動だけで桜が十分育ったわけではありません。

我々の活動に共感し、緑を心底愛されている方々：オレンジ・ウェイでは宮崎町小豆島愛郷会（代表・中谷清二氏）、山口王子では宮原愛郷会（代表・久喜正春氏）の方々の日常的な管理が、桜をすくすくと育てています。

私たちが蒔いた奉仕の芽が、地域有志の方々のご賛同を得て、ローカル全体に広がりを見せていくことこそ、私達にとってなによりの喜びと感じています。

